

NEWS RELEASE

ニュースリリース

プレスリリース

ニュース

事業関連ニュース

PRESS RELEASE

プレスリリース

印刷する

2003-09-12

平成15年12月期中間(連結・単独)業績予想の修正について

当社の平成15年12月期(平成15年2月1日から平成15年12月31日まで)の中間業績予想について、平成15年3月18日付当社「平成15年1月期決算短信(連結)」及び同日付当社「平成15年1月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました中間業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成15年12月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期(平成15年2月1日～平成15年7月31日)

(単位: 百万円)

	売上	高経常利益	中間純利益
前回予想(A)	9,700	30	10
今回修正(B)	9,564	△373	△211
増減額(B-A)	△136	△403	△221
増減率	△1.4%	—	—

(2) 修正理由

売上高につきましては、中核事業である分譲マンション事業において、前期末に融資時期の遅延等により発生した完成在庫がほぼ完売するなど、概ね事業計画どおり進捗したものの、期初に予定していた遊休地に掛かる事業化コンサルティング等、不動産関連業務受託事業の売上計上が、下期にずれ込んだこと等により、95億64百万円(当初予想比1億36百万円の減少)となる見込みであります。

経常利益につきましては、利益率の高いコンサルティング事業の計上時期が下期にずれ込んだこと、および連結子会社の積極的な業容拡大に伴う先行コスト増大により、3億73百万円の損失(当初予想比4億3百万円の減少)となる見込みであります。

また中間純利益につきましては、上記の理由により2億11百万円の損失(当初予想比2億21百万円の減少)となる見込みであります。

(3) 通期(平成15年2月1日～平成15年12月31日)

通期の業績につきましては、利益率の高い不動産再生事業に対するコンサルティング業務売上等が下期に見込まれること、および連結子会社の業績改善が見込まれることから、平成15年3月18日付で発表いたしました業績予想に変更はありません。

(4) ご参考: 前期の実績(平成14年2月1日～平成15年1月31日)

(単位: 百万円)

	売上	高経常利益	当期純利益
中間期(2/1～7/31)	6,571	100	32
通期(2/1～1/31)	29,825	2,302	1,259

2. 平成15年12月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期(平成15年2月1日～平成15年7月31日)

(単位: 百万円)

売上高 経常利益 中間純利益

前回予想(A)	9,100	88	50
今回修正(B)	8,835	△207	△127
増減額(B-A)	△265	△295	△177
増減率	△2.9%	—	—

(2) 修正理由

売上高につきましては、中核事業である分譲マンション事業において、前期末に融資時期の遅延等により発生した完成在庫がほぼ完売するなど、概ね事業計画どおり進捗したものの、期初に予定していた遊休地に掛かる事業化コンサルティング等、不動産関連業務受託事業の売上計上が、下期にずれ込んだこと等により、88億35百万円(当初予想比2億65百万円の減少)となる見込みであります。

経常利益につきましては、利益率の高いコンサルティング事業の計上時期のずれ込みにより、2億7百万円の損失(当初予想比2億95百万円の減少)となる見込みであります。

また中間純利益につきましては、上記の理由により1億27百万円の損失(当初予想比1億77百万円の減少)となる見込みであります。

(3) 通期(平成15年2月1日～平成15年12月31日)

通期の業績につきましては、利益率の高い不動産再生事業に対するコンサルティング業務売上等が下期に見込まれることから、平成15年3月18日付で発表いたしました業績予想に変更はありません。

(4) ご参考: 前期の実績(平成14年2月1日～平成15年1月31日)

(単位: 百万円)

売上高 経常利益 当期純利益

中間期(2/1～7/31)	6,255	198	97
通期(2/1～1/31)	28,673	2,405	1,329

以上

▲ PAGE TOP